

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	防犯対策事業			
予算科目	2 款 1 項 15 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	危機管理課	電話番号(内線):	564
記入者情報	所属長:	泉 仁	担当責任者:	山岡 慎司
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民			
根拠法令等	伊予市防犯灯設置費補助金交付要綱			
事業の目的	犯罪を防止し、交通の安全を保持して明るいまちをつくる。			
事業の内容	伊予地区防犯協会負担金防犯灯設置工事費の一部補助			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	4,593	6,142	4,651	5,786
	人件費	1,952	874	437	874
	合計	0	7,016	5,088	6,660
人件費 内訳	人工数	0.24	0.11	0.06	0.11
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,952	874	437	874
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,545	7,016	5,088	6,660

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
伊予地区防犯協会負担金	千円	3814	3814	3813	3813
防犯灯設置費補助金	千円	555	1830	641.2	1520.3
防犯灯設置数	本	32	101	47	101

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	4,420	4,420	4,420	0	0	13,260

成果指標				
成果指標	防犯灯の設置数			
指標設定の考え方	防犯灯設置による犯罪発生抑止が期待されるため、設置数で受益の度合いを測定する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	28	101	0	0
実 績	32	101	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>地下道の防犯カメラ維持管理、伊予地区防犯協会経費負担、防犯灯等設置費補助を円滑に実施することができ、犯罪の防止や交通の安全の確保に努めた。特に、防犯灯設置については、防犯灯の更新時期やLED化が促進され、地元からの要望も多く補正により対応した。101本の防犯灯の整備が出来た。今後も明るいまちづくりを目指し継続実施しなければならないと考える。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>市内で振り込め詐欺事案が発生しており、警察との連携の下、防災行政無線で注意喚起を行っている。LED防犯灯については、今年度は、申請件数がH25年度の32件から101件に増加しており、周知・普及は図れていると考える。しかし、身近な防犯対策のため地元から早急な対応を望む声が強くなり、今後、対応等について検討を行う必要がある。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	地域からの防犯灯等の設置要望が増加している。地域の要望を的確に把握し、計画的に整備すること。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。